

絶滅の危機にあったアホウドリを救え……
アホウドリ先生のとてつもなく勇気が湧いてくる話

ゆとりぎ市民文化講座

第1回

よみがえれ！ アホウドリ

講演 東邦大学教授・長谷川博先生

- 12月16日（土） 開場 13:00・開演 13:30
- 羽村市生涯学習センターゆとりぎ小ホール（全席自由）
- 入場料 500円（高校生以下無料）

※未就学児の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。

入場希望者は事前に電話でゆとりぎ受付へお申し込みください。

羽村市生涯学習センターゆとりぎ ☎ 042-570-0707

ゆとろぎ市民文化講座



長谷川博（はせがわ・ひろし）氏 東邦大学理学部教授。動物生態学が専門。1976年から鳥島においてアホウドリの現地調査を開始。1998年、第32回吉川英治記念文化賞受賞。06年9月、財団法人山階鳥類研究所から鳥類の研究保護に顕著な功績があった人に贈られる山階芳麿賞を受賞。最新著書『アホウドリに夢中』（新日本出版社）ほか著書多数。1948年、静岡県生まれ。http://www.mnc.toho-u.ac.jp/

東京から南に約600キロ、太平洋のまった中に浮かぶ「伊豆鳥島」は、かつては、アホウドリが巣を張り子育てを行い、安全に暮らすことのできる南海の楽園であった。だが、その羽毛採取を目的に年間20万羽にのぼる乱獲が行われ、一時は絶滅したと言われていた。1952年、奇跡的に数羽の生存が確認され、1962年には国の特別天然記念物の指定を受け、絶滅危惧種として国際的にも保護されている。

アホウドリ先生こと長谷川博教授は、1976年から鳥島でアホウドリの生態調査を重ね、「デコイ」と呼ばれる実寸大模型を使って仲間を誘う独創的な方法を考案し、鳥島の新たな場所に安全な繁殖地を作ることに成功した。雄のアホウドリがデコイの一つに恋をして、巣作りと求愛ダンスを続けたという逸話は話題となった。長谷川教授や関係者の不断の努力により、現在では1800羽を超えるまでに回復したという。

さて、第1回の「ゆとろぎ市民文化講座」は、その長谷川博教授をお招きして、アホウドリの保護活動にまつわる貴重なお話をうかがいます。自然保護・動物保護・環境問題などに関心の深い市民のみなさんの聴講をお待ちします。受講希望者はゆとろぎ受付まで電話でお申し込みください。

ゆとろぎ ☎ 042-570-0707

よみがえれ！ アホウドリ

講師 東邦大学教授・長谷川博氏

- 12月16日（土） 開場 13:00・開演 13:30
 - 羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール（全席自由）
 - 入場料 500円（高校生以下無料）
- ※未就学児の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。

